

「気付き見守りアプリ」の使用状況等に関する2024年度管理職等アンケートの 集計結果

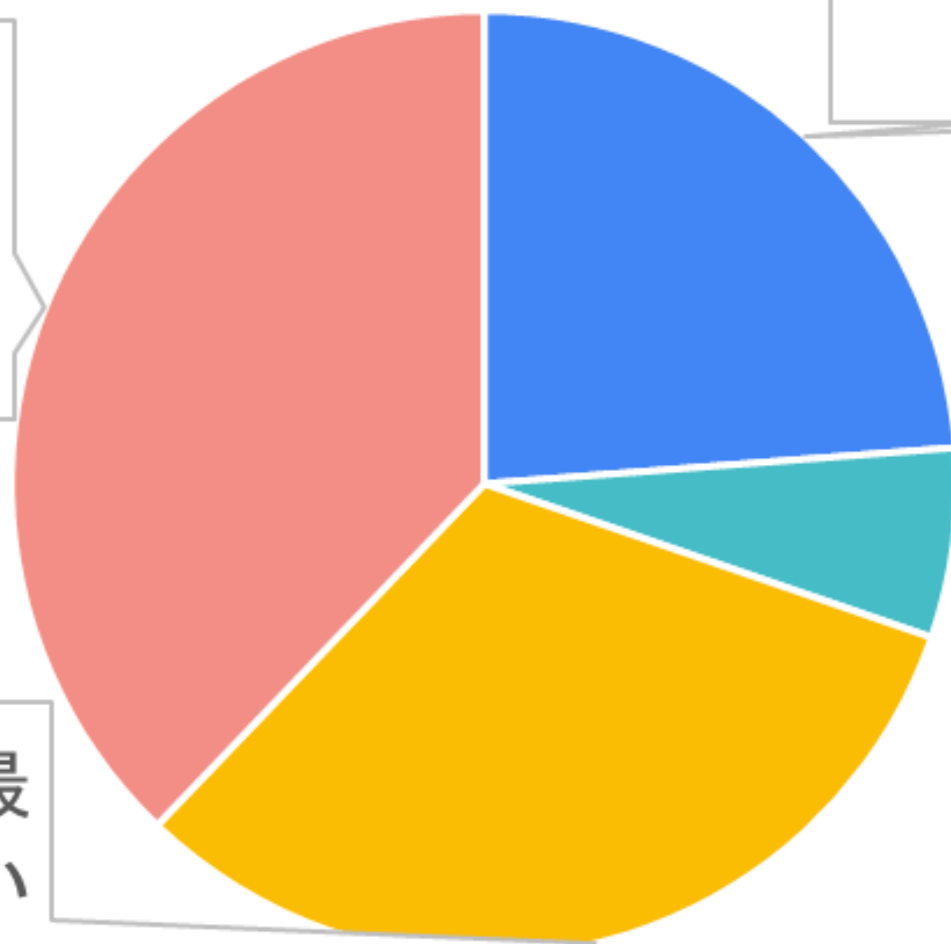
活用の現状

全校で業務の一環に位置
づいて活用されている
24%

当初からほとんど活
用されていない
38%

一度は活用したが、最
近は活用されていない
32%

一部の学年で活
用されている
6%



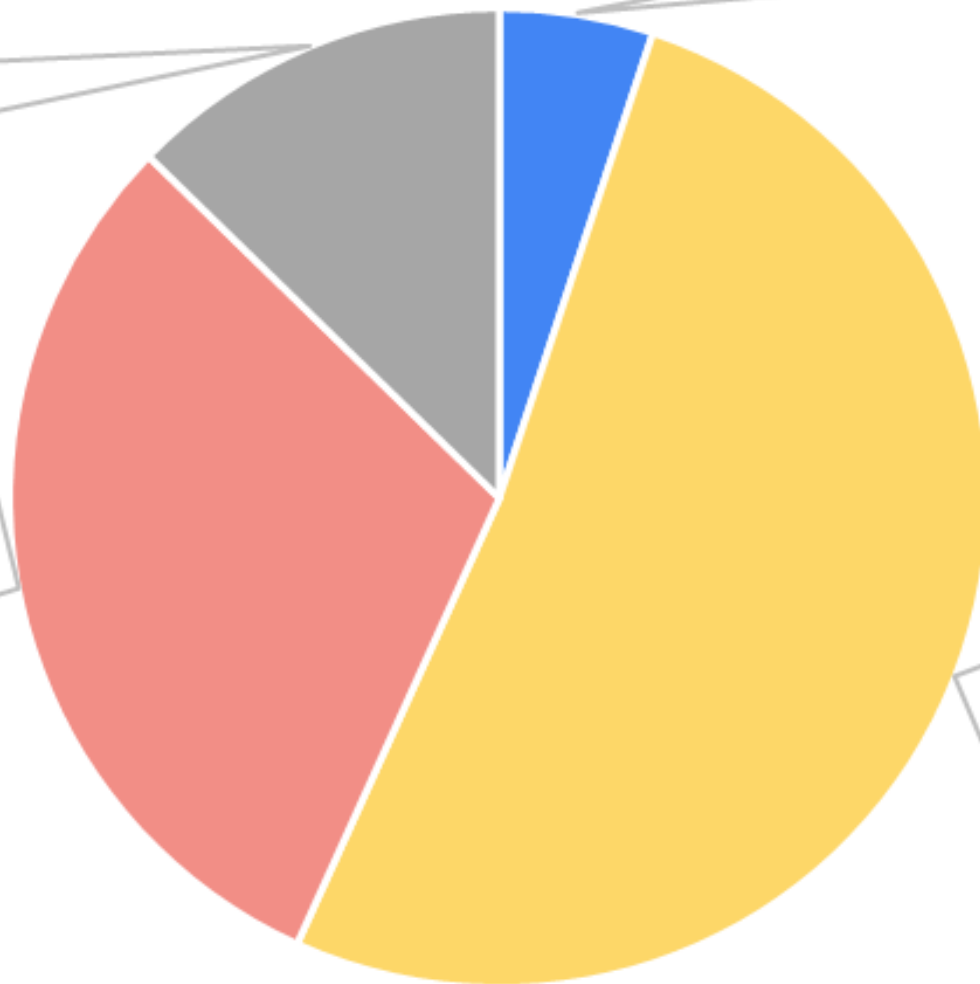
活用しなくなった理由

入力する事案がほとんど
なくなったため 5%

その他 13%

業務量が多いなか
で記入する時間が
とれなかったため
30%

アプリに入力しな
くても十分に共有
と記録ができたた
め 52%



活用しなくなった理由(その他)

- 使い勝手が悪く、入力することも見返すことも負担となっており、なかなか使う習慣を付けにくいため。
- アプリに入力しなくても十分に共有と記録ができたし、動作が遅いアプリに入力する時間もとれないため
- 個人別生活カードとの併用を考えたが、過去のデータが保存できないと分かり、活用を断念した。
- 使いづらい。水準にあてはまらない些細なことこそ、その後 重大な事態に繋がることがあると考えるが、そういったことを日々記入しながら、だんだん重大事態になって行った時に見直せたり、案外 収束したことでもしたことでも後で見直せたり、全記録がそこに 集約できるものになったらそれ一本で済むので楽かと思うが実際にはそうではない。
- 終礼後に入力を連絡していたが、3学期から連絡をしなくなったため

活用しなくなった理由(その他)

- 気になる事案があった場合は、その時点で管理職に報告されていた。
- 従来からの校内組織で情報を共有する形態を活用しているため
- 小規模校のため、会議や打ち合わせの場面で頻繁に気づきを共有することができたので
- 他のもので記録するようになったから。
- 別のシートに児童の観察をいれているので、そちらをメインに活用しているため。
- 本校独自の共有データを活用しているため
- 本校独自の生徒指導上の共有データを活用していたから
- 共有したい児童の様子は、別のものに記入している

改善の提案の自由記述の まとめ

(活用しなくなった学校の場合)

① 業務負担・時間の確保が困難

- 校内での情報共有や検討委員会、月例での報告をした上でさらにアプリの活用となると作業や内容が重複し勤務時間内に全てやる時間がとれない。
- アプリを毎回開くことに時間がかかります。市教委のいじめ分析シートがあるので、県と共有できれば処理量が増えることなく有効に活用できます。
- 全校で入力する時刻を決める等の対策をとりたかったが、それ以外の業務量が多すぎるので入力する時間がとれない。

② 重複記入・既存の仕組みとの整合性不足

- 個人別生活カードと気づき見守りアプリの両方に入力しなければならないことが負担になっているため、統一したものがあればよい。
- 学校で保存する引き継ぎファイルがあり、個別の記録を残している。そちらを書いたあとアプリにも同じ内容を打ち込むとなると二度手間。
- いじめの報告書等提出する書類が多いので、教職員の負担を考えると活用を推進していくことは難しい。

③ 小規模校特有の状況 (口頭共有・スプレッドシートなど)

- 小規模校のため口頭での共有のほうが早い。
- 本校は極小規模校で、直接教職員が情報の共有を行ったり、スプレッドシート等を用いてスムーズに対応できている。
- 小規模校ということもあり、一人が担当する業務量が多く、なかなか利用しにくい。必要に応じて、自分が記録しやすい方法で記録している。

④ アプリの操作性・機能に関する不満

- アプリを開いてから入力し記録するまでの手順が多いため手間がかかる。また、児童の目につく可能性もある。
- アプリが重く開きづらい。
- 入力が少しでも簡単になればありがたい。

⑤ 記録の実効性や共有性に関する疑問

- 児童名を匿名で入力することになっているので、情報共有に支障がでる。
- 記録として蓄積されていくということで、ちょっと気になったくらいのは安易に書き込めないというハードルの高さがある。
- 情報共有のあり方自体に、デジタル化のデメリットを感じる。記録(入力)で終わった感が芽生え、相談という要素が軽視されがちになる。

⑥ 改善提案・今後の可能性への期待

- まずは利用する**メリットが周知されること**ではないかと思う。
個別の記録と数値的な記録を連動し、見やすくなると活用は広がると思う。
- **活用事例の冊子や研修**があればよいかもしれない。
- 本アプリの**活用方法や活用事例、その効果など研修**で知りたいです。

改善の提案の自由記述の まとめ

(当初からほとんど活用されていない
学校の場合)

① 入力負担・操作性への懸念

- とにかく、時間のかかる入力等は厳しい。選択式等ならば時間的に余裕がでてくるかもと考える。
- 業務が多いので、入力の手間は極力減らしていただけるとありがたいです。
- 入力しやすいように工夫されているのと思うが、逆に「どのマークにも分類しにくい」「空欄になると不安」といった心理的ハードルがある。

② 既存の業務・システムとの重複・非連携

- 問題行動、不登校報告、個人別生活カード、気づき見守りアプリ等、たくさんありすぎるので、**気づき見守りアプリですべてを統括**できたら便利。
- **月例報告など生徒指導に関する報告を1つのファイルにまとめ、教育委員会・研究所などがそこから情報を読み取る形式**にしてほしい。
- 学校の実態に応じた**共有ツールとの互換性**が必要。

③ アプリの仕様・UIに関する要望

- インターフェースをもう少し見やすくしてほしい。特に水準チェックの視認性を改善してほしい。
- 時系列に並べる機能がほしい。
- 文字の表記が小さいので見にくい。担当以外も編集できるようにしてほしい。

④ 用途・記録対象の拡張要望

- いじめ関連だけでなく、**児童の成長や家庭事情の変化なども共有できるシステム**がよい。
- 「その他」に分類せざるをえない事例が多く「これでよいのか？」と不安になる。
- **児童の家庭状況を記録できる視点**も重要。

⑤ 活用における心理的・文化的障壁

- 入力した内容が訂正できないため、状況の詳細が分からないと気軽に記録できない。
- 教員にとって入力することの意味や効果が理解できず、管理職が入力している。
- 使用すること自体が億劫になっているのが現実。

⑥ 今後の活用への期待・提案

- 複数の教員やいろんな視点から児童の様子を確認できるので、継続して活用したい。
- まずは使用してみないとわからない。
- 使用している学校との情報共有が必要。子どもたちの様子を丁寧にみとるための指導者の資質向上に関する研修の実施が必要。

新たな機能の要望

